



久しぶりに児童の見学に付き添うことができました。3年生の**歴史民俗資料館**の見学です。滝野図書館の横にありますが、わたしも久しぶりです。加古川の舟運、漁業や昔の道具などについて詳しく学習しました。資料館の係の方が、昔のそろばん、ひばち、電話などを見せながら、「これらは、みなさんのおじいさんおばあさんが懐かしいと思われる道具です。」と紹介されていました。わたしは、ほとんど説明なしで分かってしまいました。懐かしい福助人形の立体的な看板。子どもたちはもちろん、担任も全く分かりませんでした。音が鳴らないと困っていたオルガン。それは足で踏みながら弾くんですよ。慣れてしまえば、「にじいろ」や「恋」などを上手に弾いていました。わたしも古い人間ですが、上手に使ってくださいね。

ネット、ラインなどに関わる問題。今どきの問題が、この南小学校でも起こってきました。いらぬ画像のアップ、ちょっとした中傷など、まだまだ小さなことではありますが、今のうちにしっかりと共通理解ができるようにと、担当を中心にご家庭とも連携して迅速な対応をとったつもりです。今、学校でも児童会がゲーム機、スマホ等の使い方のきまりを話し合っているところです。来年度になれば南っ子のきまりとして皆さまにお見せできると思います。今一度、子どもたちのネット活用の現状を把握し、適切な指導をお願いします。

少し違う話になりますが、先日読んでいた本に通信アプリに関する興味深い記事が載っていました。「スマホや携帯を長時間使用（メール、インターネット、ゲームなど）すると、いくら勉強しても成績が下がる」ということでした。スマホ等の使い過ぎは、勉強の効果を打ち消すそうなのです。**通信アプリの使用時間と勉強時間、数学の平均点**との関係を詳しく調べた結果、「30分未満しか勉強しない生徒同士で比べると、通信アプリを使う時間が長くなるほど平均点はどんどん下がっていく。ということは、学校で勉強してきたことまで失われるということだ。さらに、家で2時間以上勉強しても、通信アプリを3時間以上使っていれば、30分未満しか勉強しなくてもスマホを持っていない生徒の平均点を下回ってしまう。せっかく勉強したことを無にしたくないのなら、使用はせいぜい1時間未満だろうか！」のです。わたしは、通信アプリを長時間使うことが、本やノートを使って主体的な学習をすることへの集中力を落としてしまうのではないかと思います。さらに言えば、あの画面を見続けることによる脳への影響が、良い睡眠を阻害しているのではないかと思います。



「南っ子カップ」で、みんなで鬼ごっこを楽しみました。



中国、台湾、モンゴル、スイスからの留学生に来ていただき、歌やゲームで交流しました。

親にとっては、心配することが増えてきたなあと思います。教師の立場から思うことは、**人の注意量**についてです。昔の教師も今の教師も、物事に注意できる量に大差はないと思います。しかし、今は、スマホの使い方など、昔に比べて注意すべきことが、指導すべきことがどんどん増えています。あくまで注意の深さではなく、広さのことです。わたしたち今の教師は、新しく注意すべきことに気を取られて、昔から大切にされている、子どもの成長のために忘れてはならないことに気付かなくならないように気を付けなければなりません。規律、協力、責任感、自主性、思いやり・・・ともに、挑む。

先日、学校にお電話がかかり、地域の方から、「交差点で車を停めると、南小学校の子が帽子をとってありがどうの気持ちを伝えてくれました。気持ち良かったです。」という嬉しいお話を聞かせていただきました。それを子どもたちに伝えてやるのが、“感謝”を表すことの大切さをさらに学ばせることとなります。ありがとうございました。